

### 第3学期始業式式辞（令和7年1月8日）

皆さんおはようございます。2025年が始まりました。

今日から私たちは新学期。3年生は、まもなく共通テストです。これまで積み上げてきた自分の力が発揮できるよう、体調を整えて準備してください。1、2年生も、それぞれ目標を立てたことと思います。「時間」は全ての人に平等に与えられていると言いますが、その時間の大切さを理解し、自分で時間を、そして体調を管理・コントロールできるよう、生活習慣を整えていきましょう。

2学期の終業式で、私は、「命を守ることの大切さ」「人への思いやりや人への感謝」について、これからも皆さんに伝えていきたいとお話しました。この1月17日で、阪神淡路大震災から丸30年がたちます。30年前の1995年、冬の朝の、まだ明けきっていない午前5時46分、愛媛でもかなり大きな揺れがあり、私も目を覚ました。その朝のニュースでは、関西の揺れが大きかったという報道があっただけで、私たちは日常の勤務について、が、明るくなるにつれて、甚大な被害が明らかになっていきました。失われた命があれば、助かった命もあります。当時、私が勤務していた今治の高校の、私のクラスにも、神戸から避難してきていた生徒を受け入れました。どんなに大変な思いだったかと思います。

あなたたちは、その10年以上あとに、この世に生を受け、今、しっかりと生きています。今年は、その、生きていることの尊さを改めて感じる1年になると思いますし、そんな年にしてほしい。8月には、終戦から丸80年の節目を迎えます。戦争という人権侵害や、あらゆる差別から人の命が守られる、そんな当たり前のことが当たり前である世の中に、あなたたちの手でして欲しいし、上の世代の私たちも頑張りたいと思います。そういったことに目を向けられる人になり、そうして日々の生活の中でも、交通事故やウイルスから自分の身を守る、そのためにできることをしていきましょう。

もう一つ、2学期の終業式では、図書館の方からのメールを引用して、「誰かに評価されるためではなく、自分自身のために、しっかり勉学に取り組んでいる東高生」のすばらしさについてお話しました。そのメールをいただいたとき、私は本当にうれしかった。ですから、もう一度伝えます。これまでやってきた自分の取組、真摯な努力に自信を持って、引き続き勉学や部活動に励んでください。そんな東高生を心から応援しています。

2025年は、皆さんにとって、飛躍の年、すばらしい年になる、そう願って、そして、皆さんが、体に気を付けて日々を過ごし、心身ともに元気な状態で次のステップを迎えられることを願って、式辞を終わります。